



学校だより

7月号

横浜市立菊名小学校

令和5年 6月30日

失敗なんてない

校長 松瀬 歩

エジソンの3大発明として有名なのが発熱電球ですが、実はエジソンより1年前に発熱電球は発明されていました。しかし、点灯時間が短く、実用化されなかったそうです。それをエジソンが1000回もの実験を繰り返し、実用化できるまでに点灯時間を延ばしたというのです(エジソンがフィラメントに京都の竹炭を使ったことは有名な話です)。1000回もの実験を繰り返したエジソンにある人が次のようなことを聞いたそうです。

「あなたは1000回もの失敗を繰り返しても、最後までやり抜いたんですね。」

それに対してエジソンは次のように答えたそうです。

「私は1回も失敗なんかしていない。こうやるとうまくいかないという方法を1000通り見つけることができたんだ。」

この逸話はチャレンジ精神を推奨するためによく企業で用いられているようですが、学校や子育てでも使えます。

子どもは生活経験や学習経験の少なさから、間違いや失敗を繰り返します。それは自然なことで、それを厳しく叱ったり厳しい罰を与えたりすることで、子どもの心に深い傷を与え、自己肯定感がさがり、様々なことに消極的になってしまいます。

日頃、我々教職員は

「教室・学校は間違えるところ。」

「問題を間違ったときは、こうやると間違えてしまうんだということが分かったんだね。それは、正解を出すことと同じぐらいの価値があるんだよ。だから、間違いは消さないで残しておくことがとても大事。」

「こういうことをすると〇〇さんは嫌な気持ちになるんだね。大切なことを学んだね。」

というようなことを子どもたちに話しています。このように考えると「失敗」はすべて成功経験になりえるということなのです。

4月の学校だよりで「チャンスメーカー」ということを載せました。成功経験を積んだ子どもは、何事にも粘り強く取り組むと言われており、教職員は子どもが成功経験を積み重ねられるような機会を意図的につくっていきますという内容でした。

7月21日から長い夏休みに入ります。お子さんとしっかりと向き合える貴重な機会です。お子さんと話し合い、お子さんが実現可能な目標設定(約束)をして、適切に評価してあげることで有意義な夏休みを過ごせると思います。



先日の校舎建て替え説明会には多数の保護者の皆様に来ていただきありがとうございました。子どもたちや保護者の皆様の思いをしっかりと受け止め、対応してまいります。

今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。